

予防接種基本計画に関するこれまでの主な指摘事項

＜①国会における主な指摘事項＞

- 4ワクチンについては、定期接種化を目指していくという方針と、定期接種化した後に必要な施策についても、できるものは前倒しというような意味も含めて、基本計画に盛り込むべきではないか。
- 基本計画は来年度予算案の時期も考慮して、年内に策定すべきではないか。
- ワクチンで予防できる疾病については適切にワクチンで予防していくという方針や、審議会が国民の健康保持に寄与すると判断した疾病は定期接種化を目指していくという一連の政策推進のプロセスについて、基本計画に記載すべきではないか。
- 定期接種化された疾病、審議会が定期接種化を提言された疾病について、予防接種施策の効果やその地域間の格差、接種率の把握をしっかりとやっていくということを基本計画に記載すべきではないか。
- PMDAが集積する安全性情報と国立感染症研究所が集積する疫学情報を総合的に評価していくことを、しっかりとやっていくべきではないか。
- 予防接種導入前後の医療費及び社会的損失に関する影響を比較評価すること等を、基本計画にしっかりと盛り込むべきではないか。
- 予防接種にかかる費用の地域間格差解消など、予防接種の実施に当たっての効率化、適正化について、基本計画に盛り込むべきではないか。

- ワクチンの研究開発促進のため、新しいワクチン候補などについて、基本計画に記載すべきではないか。
- 基本計画に盛り込んだ事項については、PDCAサイクルのもと、1年ごとにしっかりと施策を評価していくということを基本計画に記載すべきではないか。
- ワクチンの意義、リスクなど有効性・安全性に関する情報、副反応と、ワクチンとの因果関係が不明確な有害事象との違い等について、一元的に国民に情報提供をやっていくという透明性及び客観性のある運用について、基本計画に措置すべきではないか。

<②予防接種・ワクチン分科会における主な指摘事項>

- 市町村や被接種者の負担軽減のため、①同時接種についての方
向性、②混合ワクチンの研究開発、③接種記録の統一化、④財源論
でワクチンの接種数が停滞しないよう、予め国・市町村の費用負担を
明確にする、ことを計画に盛り込むべき。
- 予防接種法の改正や理念について計画の中に組み入れることを検
討すべき。
- 分科会や基本計画に関して評価する仕組みを作るべき。
- 子どもの予防接種以外の成人用の予防接種も基本計画に入れ、
長期的視点で基本計画を策定するべきではないか。(米国では成人
も予防接種計画が策定されている例を念頭に)
- 副反応報告制度の法定化は意識があるが、健康被害救済制度と
合わせて世間に広く周知されていないので、これらも含めた広報体制
を基本計画に盛り込めないか。
- 基本計画策定に当たり、医療経済からみたワクチン導入の効果な
ども盛り込んで欲しい。
- 計画をしっかり評価する仕組み(PDCAサイクルを念頭)を築くべ
き。